



仙台湾気象台4月9日発表の東北地方1か月予報によると、向こう1か月の平均気温は低い確率が60%と予想されております。今後、生育が進むとともに凍霜害の危険性が高くなりますので、気象情報に注意し防霜対策など管理の徹底を図りましょう。

1 気象概況

4月1～2半旬の平均気温は、1半旬が9.0 で平年より1.1 高く、2半旬が10.1 で平年より0.7 高く経過しました。この期間の降水量は36.6mmで平年の146%でした。

表1 半旬別気象表（果樹研究所）

月	半旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
4	1	9.0	7.9	+1.1	14.7	13.9	+0.8	4.1	2.0	+2.1	36.0	8.3	433.7
	2	10.1	9.4	+0.7	17.3	15.1	+2.1	2.6	3.9	-1.3	0.6	16.8	3.6
	3		10.5			16.6			4.6			14.5	
	4		11.3			17.5			5.3			13.2	
	5		13.0			19.3			6.9			16.2	
	6		13.8			20.4			7.5			15.0	

2 農業総合センター果樹研究所における生育状況

- (1) モモの発芽は、「あかつき」が3月23日で平年より4日早く、「ゆうぞら」が3月24日で平年より5日早く確認しました。
- (2) ナシの発芽は、「幸水」が4月5日で平年並、「豊水」は4月2日で平年より1日遅く確認しました。
- (3) リンゴの展葉は、「ふじ」が4月9日で平年より2日早く確認しました。
- (4) オウトウの発芽は、「佐藤錦」が3月31日で平年より3日早く確認しました。

表2 発育状況 (農業総合センター果樹研究所)

樹種	品種	発芽			展葉		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
モモ	あかつき	3月23日	3月27日	3月20日	-	-	-
	ゆうぞら	3月24日	3月29日	3月21日	-	-	-
ナシ	幸水	4月5日	4月5日	4月2日	未	4月17日	4月12日
	豊水	4月2日	4月1日	3月31日	未	4月12日	4月10日
リンゴ	つがる	3月26日	3月28日	3月23日	未	4月11日	4月10日
	ふじ	3月26日	3月30日	3月24日	4月9日	4月11日	4月7日
オウトウ	佐藤錦	3月31日	4月3日	3月24日	-	-	-

3 県内産地における生育状況（4月8日現在）

- (1) モモ
「あかつき」の発芽は、桑折町と須賀川市で平年より6～7日早く確認されましたが、会津若松市では平年より3日遅れました。

(2) ナシ

「幸水」の発芽は、郡山市、南相馬市、いわき市で平年より1日遅く確認されました。

(3) リンゴ

「ふじ」の発芽は、伊達市、白河市で平年より2～3日早く確認されましたが、会津坂下町では平年より5日遅れました。

4 開花予測

今後の気温が平年並に経過した場合、各樹種の開花始めは、モモ「あかつき」が4月15日頃で平年より1日早く、ナシ「幸水」が4月24日で平年より1日遅く、リンゴ「ふじ」が4月27日頃で平年並と予測されています。

なお、開花期は直前の気温に左右されやすいので、今後の気象経過に注意が必要です。

表3 開花予測日(4月12日現在)

(農業総合センター果樹研究所)

樹種	品種	開花始め		今後の気温経過と開花予測日		
		昨年	平年	平年並み	2 高い	2 低い
モモ	あかつき	4月9日	4月16日	4月15日	4月14日	4月16日
ナシ	幸水	4月18日	4月23日	4月24日	4月21日	4月27日
リンゴ	ふじ	4月22日	4月27日	4月27日	4月24日	5月1日

注) 平年は1976～2005年の平均値。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成22年4月9日発表)要約

向こう1か月の天気は数日の周期で変わり、東北日本海側は平年に比べ晴れの日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。また、週別の気温は1週目(4月10日～4月16日)は平年より低い確率が50%、2週目(4月17日～4月23日)は低い確率が60%、3～4週目(4月24日～5月7日)は低い確率が40%となっています。

5 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性の低下が著しく、凍霜害の危険性が高くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底してください。

事前の対策としては、防霜資材の準備を徹底するとともに、下草は低く刈り込み(地温の上昇を図るため)、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を確保(乾燥条件は気温の低下が著しいため)してください。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉の徹底により結実確保を図りましょう。

果樹の凍霜害対策のための温度指標

農業総合センター果樹研究所ホームページに掲載していますので、参照してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/kajyu-shiken/homepage.htm>

メニューから技術資料を選択して下さい。

作物別凍霜害等気象災害防止対策

県内の果樹産地における主要果樹の生育ステージとその安全限界温度等

農林水産部研究技術室のホームページに掲載していますので、参照して下さい。

<http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukyuu/seiikugijyutsuyouhou.html>

(2) 結実確保対策

開花期は直前の気温に大きく影響されるため、今後の気温の動向に注意して、訪花昆虫の導入、共同開やく所の開設、人工受粉のための労力確保等、計画的に実施しましょう。開花期が低温や強風、乾燥条件で経過すると結実が劣る場合があるので、このような条件下では人工受粉をより丁寧に行ってください。

人工受粉の際に、花粉を石松子などで増量する場合には事前に発芽率を確認し、発芽率に応じた希釈倍数で増量してください。なお、発芽率30%以下の花粉は希釈しないでそのまま使用します。

6 病害虫防除上の留意点

(1) 病 害

ア リンゴ腐らん病

伝染源となる枝腐らん、胴腐らんの発生部位は見つけ次第確実に除去し、殺菌塗布剤を塗布しましょう。また、せん除した罹病部位は伝染源になるので、園内に放置しないようにしましょう。なお、発生が認められる園では、展葉初期の薬剤防除を徹底しましょう。

イ モモせん孔細菌病(モモ、ネクタリン)

春型枝病斑からの感染を防止するため、開花直前の薬剤防除を徹底しましょう。なお、春型枝病斑は開花後頃から発生しますが、疑わしいと思われる枝枯れは見つけ次第せん除してください。

ウ ナシ黒星病

本病の最も重要な防除時期は開花期前後なので、開花直前と落花直後の薬剤防除を徹底しましょう。また、第一次伝染源となる花そう基部病斑は見つけ次第除去し、伝染源の密度低下に努めましょう。

(2) 虫 害

ア 主要害虫の防除時期

農業総合センター果樹研究所における主要害虫の発生は例年より早い傾向があるため、防除時期に注意しましょう。また、開花期前後の防除は、訪花昆虫への影響を考慮し、薬剤の選定や散布時期に十分注意しましょう。

イ モモハモグリガ

今後の気温が平年並みに経過した場合、越冬世代成虫の誘殺盛期は4月22日頃(平年より3日早い)と予測されます。初期発生を抑えるため、落花10日頃の防除を徹底しましょう。

表4 主要害虫に対する防除時期の推定(4月11日現在)(農業総合センター果樹研究所)

今後の気温予測	モモハモグリガ		リンゴモンハマキ	
	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期
2 高い	4月20日	4月26日	5月13日	5月26日
平年並み	4月22日	4月29日	5月21日	6月4日
2 低い	4月25日	5月3日	5月31日	6月15日

注) 起算日は3月1日。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用して下さい。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。